



参議院議員

日本共産党

JCP HOPE



ito_gaku

検索

伊藤 岳 ニュースレター

2022年 2月21日 NO24



参議院事務所 〒100-8962 千代田区永田町 2-1-1 参議院議員会館 609 tel.03-6550-0609 fax.03-6551-0609
埼玉県事務所 〒330-0835 さいたま市大宮区北袋町 1-171-1 tel.048-658-5551 fax.048-647-5755
E-mail jcp.saitama-kokkai@ymail.plala.or.jp

発行：日本共産党国会議員団埼玉事務所

優良農地をつぶしてまで、遊水地をつくるのか?!

坂戸市で「環境と水田を守る会結成」

埼玉県の坂戸市三芳の地域の環境と水田を守る会は 29 日、同市越辺川周辺への遊水地建設計画を中止させようと設立集会を開きました。

日本共産党の伊藤岳参議院議員や秋山もえ県議、新井文雄、平瀬敬久両市議も参加しました。

同計画は、2019 年に大規模水害が発生したことを受け、国土交通省などが計画したもの。建設予定地内に多くの優良水田や畑が含まれているにもかかわらず、関係住民や農家に十分な説明を行っていません。

建設予定地内外に多くの田畑を所有する農家は「遊水地になって水や土砂が入ったら、長年

耕してきた土の復活は難しい。致命的だ。計画を中止させよう」と訴えました。伊藤氏は「治水と食料自給率向上を両立させようという世界の流れに逆行している。無謀な計画は食い止めなければならない。力を合わせ、大事な農地を守っていこう」と呼びかけました。



海洋・船員教育に 国の十分な財政措置を

参院国際経済・外交に関する調査会は 2 日、「次世代を担う海洋人材の確保及び海洋に関する国民の理解増進」をテーマに参考人質疑を行い、日本共産党の伊藤岳議員が質問しました。

伊藤氏は、船員養成教育機関について、定員拡大、教員確保と練習船など予算確保の重要性を指摘。2021 年 5 月の同調査会で、参考人が耐用年数 15 年とされる練習船の老朽化に対する財政支援を求めた事を紹介し、練習船は船員教育において欠かせない設備ではないかと聞きました。

富山高等専門学校の賞雅寛而（たかまさともじ）校長は「生徒を育てるために練習船は欠かせない。しかし老朽化で、だましだまし使って

いる状況」と述べました。

全日本海員組合の松浦満晴組合長は「商船の免状（免許状）は船での実習が必須だ」とし、「船員養成の予算が増えていない」と課題を指摘しました。

伊藤氏が「海洋基本法第 28 条では海洋教育推進のため国は必要な措置を講ずる」としていることを紹介し、国の政策で何が必要かを尋ねたのに対し、日本財団の海野光行常務理事は「海洋教育を実践する学校等に対し、活動費用の助成等を民間で行っているのが現状だ」と述べました。

伊藤氏は「国に財政的措置を求めていく」と表明しました。



硬貨預け入れ手数料は廃止を

視覚障害者団体と、日本郵政に対し要請

視覚障害者団体でつくる「手をつなごう全ての視覚障害者全国集会」は31日、統一行動を行い、視覚障害者の自由な社会進出を実現しようと、関係省庁に要請。日本郵政に対しては、サービス拡充などをオンラインで求めました。

同会は▽硬貨の預け入れなどの手数料廃止▽障害者が利用する施設のATM(現金自動預払機)撤去の中止▽郵便の不在通知だとわかるよう、くぼみを入れる▽代筆の依頼を拒否しないことを徹底する一ことなど12項目を求めています。

参加者からは、「利用頻度だけでなく、ATMがなくなることにより生じる影響について配慮して」といった声が上がりました。

1月17日から始まった硬貨の預け入れなどに対する手数料について、ゆうちょ銀行の担当者は「コストが増加した」からだと回答。参加した日本共産党の伊藤岳参院議員は、「増加した」というなら具体的な試算を提示すべきだと指摘しました。

全日本視覚障害者協議会の山城完治代表理事

は、募金は硬貨が主で、「財政基盤が弱い障害者団体にとって手数料がかかることはとても痛い。特例の制度を設け、無料に戻してほしい」と訴えました。

郵便の種類により集荷サービスが各地で断られているという実態に関し、日本郵便の担当者は「外出が困難な方にはできる限り応じ、今後も徹底する。断るという取り扱いはない。各局に通知する」と答えました。

参加者からは、「手数料変更の際はステッカーの通知だけではなく、音声ガイダンスの導入を」といった要望が出ました。

【2022年2月1日しんぶん赤旗より】



反共は戦争前夜の声 宗教者の訴えに伊藤氏連帯のあいさつ

「反共は戦争前夜の声 立憲野党共同の前進を」と呼びかける宗派を超えた宗教者が1月27日、国会内で集会を開きました。平和をつくり出す宗教者ネットなどの主催で、30人が参加しました。

主催者あいさつした日本キリスト教協議会総幹事の金性済(キム・ソンジェ)さんは、ドイツの牧師、マルティン・ニーメラーの言葉を引きながら「反共主義を黙認してしまえば、自分に危機が迫ったときには遅かったということになりかねま

せん。宗教者が平和運動の先頭に立ち、(野党を)つなぎ、政治の正義実現に向かっていきたい」と訴えました。

日本共産党の伊藤岳、社民党の福島みずほ、沖縄の風の高良鉄美の各参院議員、れいわ新選組の大石晃子衆院議員が参加。伊藤氏は「総選挙では反共主義、反野党攻撃が吹き荒れました。参院選ではこれに打ち勝つ野党の共闘を進めていきましょう」とあいさつしました。